

フェアトレードを考える

静岡文化芸術大で
全国フォーラム

静岡文化芸術大や浜

松市などほ30日、フェア

トレードの全国フォー

ラムを同市中区の同

大で開いた。発展途上

国の生産品を適正価格

で取引するフェアトレ

ードの普及活動に取り

組む団体関係者や学生

ら約230人が参加。

国内外で関心が高まっ

ている現況を踏まえ、

立場の弱い生産者の生

活改善と自立につなげ

る普及拡大の可能性を

考えた。

パネル討論では、フ

エアトレード商品の販

売や理解促進活動など

に携わる4人の登壇者

が、学校や地域で普及

させるための方法につ

いて議論した。

同大4年の大塚莉子

さんは大学内でのイベ

ントを提案し、「興味

がない人にも、食べ物

という入り口から知っ

てもらえるきっかけに

なる」と訴えた。浜松

聖星高(中区)教員の

鈴木富美子さんは平和

で充足した生活を送る

日本の高校生に対して

「いろいろな環境で生

きた。

きる人たちの存在を知

り、フェアトレードに

ついて考えてほしい」

と期待した。

人権や環境に配慮し

て作られた服を使用す

るエシカル(倫理的)

ファッションショーも

開催。フェアトレード

商品や浜松産の生地を

使った服、小物を学生

らが身に着けて披露し

た。



学校や地域にフェアトレードを広める方法について話し合うパネリストら=30日午後、浜松市中区の静岡文化芸術大